

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援 スマイリーハーツ・アルファ		令和7 年 9 月 25 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%		活動に応じて配置を変え、利用児童が安全に利用できるようにしている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%		利用児童の状況を見ながら職員配置をしている	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%		全面バリアフリーで目からの情報も得られるよう視覚支援も積極的に行っている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%		常に清掃、消毒を心掛け、活動に応じて空間づくりをしている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%		必要に応じて別室利用できる環境を設定している	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		担当職員全員参画の日々のミーティングにおいて支援の振り返りからPDCAを繰り返す行っているようにしている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		保護者様から頂いたご意見をもとに職員全員で改善点を検討業務改善につなげている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		日々のミーティングで意見を出し合う機会を設けており業務改善につなげている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		社外より月に一度訪問の上評価、改善点を検討、業務改善につなげている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		年間計画をたて、業務改善につなげている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%		支援プログラムは事前に計画を立て、支援内容報告等はSNS等で公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%		定期的にあセスメントをとり、個別支援計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		支援会議において職員全員で個々の児童の状況を把握し、児童の最善の利益につながるよう検討している	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		支援会議において内容を共有、計画に沿った支援を行っている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%		児童の状況はアセスメントや支援経過記録等により共有して確認できるようにしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%		本人支援を中心に、家族支援、移行支援も考慮した支援内容になっている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		支援プログラムの立案は日々のミーティングで常に皆で行っている	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		毎週違う領域のプログラムに取り組めるように工夫している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%		小集団で活動する中で、個別に細かく見ていく点を職員間で共有し支援している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		その日の支援内容は朝のミーティングで共有し	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%		支援後のミーティングで振り返り、次回の留意点等を確認している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%		支援経過記録は徹底して記録し、支援内容の改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%		保護者の方々とは定期的にモニタリングを行い、計画書の見直しを行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		関係機関との会議には児童発達支援管理責任者が参画している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%		地域の医療機関とは連携できる体制を整えている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		保育園、幼稚園と情報共有し、共通認識による支援が出来るよう努めている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%		対象児童がいる場合には行っていく	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)			地域の児童発達支援センターと連携し当事業所の支援内容等共通理解につとめ、利用児童の支援に当たっている	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100%			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		100%		今後行っていきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		お迎えやお送りの時に細かい変化も共有し共通理解を図っている	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		行政が主催する家族向けの研修などご案内をお送りしている	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		最初に細かく説明している	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%		保護者面談の際にご家族の意向を細かく伺い、計画書を作成している	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%		支援内容を説明し計画書の同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		常にご相談いただける体制を整えている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		100%		現在は別事業所と共同で行っているイベントも今後は当事業所のみで交流の機会が持てるようにしていきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%		常に対応可能な状態を整えている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		HPのブログ、SNS等により活動内容を発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		十分注意している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		複数の伝達方法を整え、一番使用しやすい方法で伝達していただける体制を整えている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		100%		今後夏祭り等は近隣の方もご招待出来るようにしていきたい
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%		年間計画をたて実施している	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		年間計画をたて実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		支援会議にて共有確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%		現在対象児童はいないが、今後対象児童がいれば対応していく	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%		計画に基づく研修や訓練を行い、安全面に十分配慮した中で支援している	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%		都度説明し周知するようにしている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		支援会議において再発防止策を検討共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		計画的に研修している	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%		対象児童には記載の上説明している	